

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 藤岡市立神流小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒375-0012
群馬県藤岡市下戸塚190

E-mail kannaes@school.gsn.ed.jp

Website http://10209.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1010003

児童生徒数 男子 239 名 女子 222 名 合計 461 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 11 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

○世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の中の高山社跡を有する藤岡市の学校として、高山社を中心とした歴史と伝統文化について、全学年で系統的に学習を進めた。

1年生：紙芝居「まゆダーマンの養蚕改良 高山社」の読み聞かせから、カイコの飼育法を広めるための高山社の役割やカイコを育てるための様々な飼育方法を研究した高山長五郎の業績について学んだ。まゆダーマンは、藤岡市のマスコットキャラクター。

2年生：3年生が育てているカイコの観察を行い、次年度の学習への意欲付けを図った。

3年生：理科「季節と生物」の学習において、モンシロチョウとともにカイコを飼育(卵 → 繭 蛾 → 卵)し、季節ごとの動物の活動や成長を観察した。

4年生：社会「地域の人々の生活」において、地域の発展に尽くした先人の具体的事例として高山長五郎や高山社について学習した。実際に高山社跡を見学するとともに、校区内に残る分教場の子孫の方を招いての学習、明治期の勸業博覧会への出品に関わる賞状や分教場の看板等の現存する資料を使つての授業を実施した。

5年生：資料「苦心の末の大きなまゆ」をもとにした授業実践。神流地区の養蚕の歴史と高山社との関係についての地域学習を行った。

6年生：社会科の学習で、欧米の文化を取り入れ近代化を進めた明治政府の殖産興業の象徴的な施設である富岡製糸場の学習の際に、高山社の果たした業績を合わせて学習した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）